

日野町グラウンド・ゴルフ協会さんから 寄付金をいただきました

このたび、日野町グラウンド・ゴルフ協会さん（久野善次代表）から同協会が主催する各種大会においてホールインワンを達成したときの募金から、高齢者福祉に対する支援のために3万5千円を寄付していただきました。



この寄付金により高齢者の方とお話しするとき、お互いの思いが良くわかるようにするための助聴器（ボイスメッセ）を購入させていただきました。介護支援課で有効に使わせていただきます。

ありがとうございます。

湖東信用金庫さんから チャリティー募金を いただきました

このたび、湖東信用金庫さん（大西和彦理事長）から「お取引先様交流チャリティーゴルフコンペ」開催に伴う参加者の皆さんの募金と湖東信用金庫さんの同額の協賛寄付を合わせて3万円を、子育て支援事業の一環にと寄付していただきました。有効に活用させていただきます。



▲大西理事長（写真左）から藤澤町長へ目録が手渡されました



シルバー環境美化の日

日野町シルバー 人材センターの皆さん ありがとうございます

10月27日(水)、日野町シルバー人材センター115名の皆さんが、役場周辺やわたむきホール虹、図書館、日野川ダム周辺の草刈りなどを、ボランティアで清掃作業をしてくださいました。皆さんのおかげで、大変美しくなりました。

清掃をしてくださった皆さん、ありがとうございます。

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

紅い葉、黄色い葉、木々の葉が色づく綿向山。11月10日は「綿向山の日」天候にも恵まれ、町内外から970人もの人たちが登山。眼下に日野平野がひろがり、比良連山、琵琶湖の湖面が眺望できる。東に目をむければ、伊勢湾がキラリと光り、近くに鈴鹿、遠くに信州の山々。気温は4度、きりつと身が引き締まります。綿向山の高さ1110メートルにちなみ11時10分、歓迎のご挨拶。ゾクゾクと登山者が登頂し頂上は人で一杯に。西大路小学校も1年生から6年生まで元気に登頂。登山者の中には綿向山の日に発行する記念の登山証明書を10枚ももって「毎年登っている」と胸を張る人も。綿向山がたくさんの人に愛されているのだとうれしくなりました。このイベントが「綿向山を愛する会」の人たちが中心になって企画運営されていることは素晴らしいことであり、ありがたいことです。また、今年山頂にある「青年の塔」が

建設されて40周年。1975年当時、100名を超える日野地区青年団員が麓から石やセメントを運び上げ半年がかりで築きあげられました。この日、頂上で案内などをされた福本修一さん、横山昇さん、樫野賢一さんは、当時、青年団員として活躍されていました。

現在の日野町連合青年会も頑張っています。11月14日、全国青年大会合唱の部に出場し、最優秀賞を受賞。「合唱のまち日野」にふさわしい歌声を響かせてくれました。若い時代に仲間と手を携え何かを成し遂げることはかけがえない経験。若い人たちが元気に頑張れる希望ある社会を築かなければなりません。

ところが、若者の就職は、かつて「就職氷河期」といわれた時より厳しい状況です。「大企業が儲かればやがてみんなが豊かになる」という「神話」が崩壊したにもかかわらず、掲げた「チェンジ」の旗を降ろし、またぞろ使い古された短絡的な「経済効率至上主義」に逆行りでは困ります。真に国民生活・経済が改善される政治を実現するために力を合わせましょう。